

# 賤ヶ岳 (421 m)

低山でも雪たっぷり！

2021年1月3日

L：磯部茂明、磯部規子

年末年始の寒波による豪雪のため、サブ計画に変更。それでも若狭湾に近い琵琶湖の北に位置するこの麓の低山は、1mもの積雪だった。

悪天のため、ルートは最短の南東からリフト沿いの登山道をピストンした。

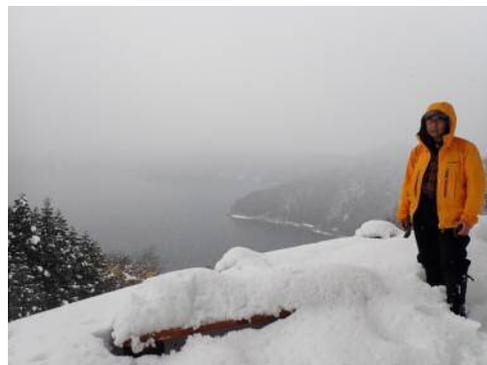


リフト（運休中）利用者用の駐車場が有り、除雪されていたので助かった。



稜線まで夏道でわずか1時間。賤ヶ岳古戦場跡としても有名な地なので訪れる人が多いのだろう、道幅も広く時折史跡案内標が見受けられた。

トレースもうっすらとあり、膝あたりまで潜りながらつぽ足で進む。



後方は雪に煙る余呉湖

稜線に上がると、その向こう眼下に余呉湖が広がっていて静かに感動。

ここから雪も深くスノーシューに履き替えてすぐその頂上をめざす。

1m前後の積雪が有り、標高からいったら“我らの尉ヶ峰”程度。こんなに手軽にすばらしい雪景色を堪能できるとはさすが“湖北”・・・すばらしい。



余呉湖バックにラッセル！

そこそこの斜度をがんばってショートラッセルし、夏に来たらいろいろな施設、史跡があるだろう頂上に到着。



南方には雪化粧した長浜の郊外が広がっている。



賤ヶ岳七本槍と呼ばれた武将像



夏はこんな感じ

.....で、だれ？

頂上南西方向には琵琶湖の北端も広く望まれる。



静まりかえった時間と空間の中たたずんでみると、空一面を覆う暗い雪雲の合間から柔らかな光が差しこみ、湖面が輝きだした。

.....規子さんに後光が！！

すばらしい2021年のスタートとなったとき。

<タイム> 往復3時間程度。

(磯部S 記)